

図書だより

国見小学校図書館教育部

H29, 1, 27 NO, 9

3学期も、読書の時間を作りましょう!



新しい年が明けました。2017年も、子ども達がたくさんの良い本に出会えることを願っております。

冬休みには、たくさんのご家庭で家読に取り組んで頂くことができました。年末年始でお忙しいところ、読書の時間を設けて頂きありがとうございました。現在、各学級の代表者のカードを2階廊下に掲示しています。また、紙面にも紹介しましたので、ぜひご覧ください。

今後も、全校読書週間や「4～6のつく日」を中心に読書に取り組ませていきたいと思っておりますので、ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

第3回全校読書週間について

期間 2月1日(水)～2月21日(火)
内容



<読書の記録>・・・今回は「おすすめの一冊」

1年間の読書のまとめとして、自分のおすすめの本を紹介してもらいます。代表者のカードを2階廊下に掲示します。

<読み聞かせ>

図書委員による読み聞かせがあります。

対象は1～4年生です。

ボランティア「みみずく」さんによる読み聞かせがあります。

全学年1回ずつ行います。

～冬休み家読カードより紹介～

「チョコレート戦争」

4年女子



<自分>

子ども達が盗み出した「チョコレートの城」がにせものだったところがおもしろかったです。その計画を真剣に考え、役割も決めている子ども達もおもしろかったです。

<母>

子ども達と大人の知恵比べがおもしろかったです。デコレーションケーキを月に一回クラス毎に届けるというのは、大人ならではの粋な計らいですね。

<父>

この本は、私も小学生の時に読みました。読書の楽しさを教えてくれた本の1冊です。年の離れた親子で同じ本を読めるというのは、素晴らしいことだと思いました。子どもへの大人への反発(ちょっと大げさですが)や対抗手段、ラストでの大人からの素敵な計らいという、このお話の基本的な構造は、いつの時代でも受け入れられるということだと思います。私も当時、こんな盗み出しのような計画に友達と参加できたら、と思ったものでした。今の版でもラーメンが50円なのには笑ってしまいました。

「ヘレン・ケラー」
1年男子



<自分>

じぶんがびょうきなのに、ほかの人のためにはたらいでいてすごい。

<母>

ヘレンもすごいけれど、それを教えたサリバン先生も根気があってすごいですね。

<祖父>

サリバン先生に助けられた自分が人のために頑張りたいと、老人になるまで頑張ったことは素晴らしいと思いました。

<祖母>
努力すればいろいろなことができるし、やさしさだけではできない、心の強さがすごいと思います。

「14ひきのもちつき」 2年女子

<自分>

14ひきのねずみたちが、みんなでなかよくおいしいおもちができてよかったです。

<母>

大家族でたくさんのおもちを作るのが大変そうでしたが、みんなで力を合わせて作れて良かったです。今は、自分の家でもちつきをする家庭が少なくなりましたが、みんなで作ることができたら楽しいでしょうね。

<兄>

ぼくも、学校でもちつきをしました。きねでつくのがとても大変でしたが、楽しかったです。



「山のいのち」

6年女子

<自分>

学校で習った「海のいのち」のいのちシリーズで、少しこわいお話の場面もあるけど、山の大切さや生き物の大切さがよく分かった。

<父>

現在の子供たちでは想像もできない物語だと思うけれど、本来の人間の姿を表した素晴らしい作品でした。

<母>

子ども司書講座に通っていた娘が、主人と私に読み聞かせてくれました。聞き手ということもあり、浮かんでくるような絵に引きつけられました。阿武隈川でうなぎとりをしていた祖父とのことを思い出しました。小さい子どもからおじいさんおばあさんまで心に残る一冊になると思います。



「大人になるまでに身につけたい大切な心」
5年女子



<自分>

武田信玄が困っていたとき、上杉謙信が「塩」を送ったように、友達が困っていたら助けていきたいです。

<弟>

できた塩をあげて、弱いところを助けたところがすごいと思いました。

<父>

川中島の合戦の話・・・いろいろな角度から考えることができる話です。恩義を忘れないようにしてください。

<母>

真の友人は本当に困っているときに助け合うことができたり、友人のことを思って発言してくれます。お母さんには、友人がいてくれたお陰で、お互いを高め合うことができました。真の友人との出会いを大切にしましょう。

「木のすきなケイトさん」

3年男子

<自分>

ぼくは、ケイトさんが木のことにくわしいことを学びました。さばくにすんでいて木がないので、そのさばくに木を植えていたのがすごかったです。

<母>

ケイトさんは、木が好きで、一生懸命木について勉強しました。女の人で初めて科学の大学を卒業して、砂漠で木を育て、町並みを変えました。やっぱり、好きなことをとことん突き進んでいくと、大きな事を成し遂げられるんだと思いました。

<父>

好きこそ物の上手なれ。努力を積み重ねると、結果に現れることを改めて知ることができた物語でした。

